



## 8強入を決め、歓喜のダッシュ!!

秋田魁新報社提供

# 南翔

「南翔」 第三十五号  
題字揮毫  
第十一代校長  
松本 健先生

秋田県立秋田南高等学校  
同窓会会報



校長  
確井 隆

# 『独立自尊』の心

「学問のすすめ」の中で、「自分で自分の身を支配し、他に依存する心なきをいふ」と述べています。以来、「人に頼らずに自己の人格と尊厳を保つことの大切さを表す言葉として、時代を

(H13年第1学期終業式)

新時代に対応する高校教育には課題は山積していますが、私達はかけがえのない生徒一人一人に変化の激しい社会で、自立し対応できる「自己教育力」を身につけさせ、その可能性を開花できる有為な人間に成長するよう、誠心誠意を尽くさねばならないと考えています。

同窓生の皆様も、学校と連携しながら後輩たちの将来のため、ご協力お願いしますとともに、ご自分の人生もさらに充実したものになることを強く願っております。

秋田県は、高校生に「主体性を持つて行動し、自己実現を図ることのできる人間、調和のとれた豊かな人間性や社会性をもつ人間、自己の能力を積極的に生かそうとする、チャレンジ精神をもつ人間、生涯にわたって学ぶ意欲を持ち、地域づくりに貢献する人間」を強く望み、期待をかけています。

難解で実現不可能に考えられるが、実はその道するべは本校の校訓「独立自尊」に明確に示されているのです。

この校訓の由来は、福沢諭吉がその著書で説き、標榜した思想を端的に表した言葉です。学問を通じて人間としての独立心と自尊心を涵養すべく促したものであり独立の意味は、

一度しかない一生を、ほんとうに生かさなかつたら、人間、生まれてきたかいがないじゃないか。』

『たったひとりしかいない自分を、たった

新しい世紀の扉が開かれた。新時代は、一人一人の個性が尊重される多様性に満ちた社会であるが、それ故に「自分探し」「夢づくり」「夢実現」に向かって努力をしなければ、時代に取り残される恐れが、今までの比ではない。

# 恩師は今

お久しうぶりです。会報部会  
の鈴木さんから原稿依頼があつたとき、ごく平凡な一教師に過ぎない私には特にお話しするような事もなく固辞したのですが、鈴木さんの熱意に押されてしまいました。思い出すまゝ、とりとめのない内容ですがお許しください。

私はこの三月に定年となりました。勤務した学校すべてにそれぞれ感懷がありますが、中でも通算十一年間勤務した南高校には特別な思いがあります。最初の七年間は職のうち六年間は連続して学級担任でしたから、セピア色に変わった当時の学級名簿を見ると一人一人が懐かしく思い出されます。私もまだ若く、後悔することも数知れず、という教師でしたが。平成六年から再び南高校に勤務した時は当時の生徒達が教師となっていたり、生徒の中に当時の教え子の子供達がいたりと、時の流れを実感したものです。また、(今度は教頭としてでしたが)

高橋紘一先生、平田先生、中川先生、鎌田諒先生、途中か



北郷  
美保子

ら講師として来られた竹内先生という懐かしい方々と再び同職できたことはこの上ない幸せいでしたし、また図書室の川和田さんとの再会も嬉しい事でした。

新校舎への移転に伴い、取り壊されていく旧校舎を目の当たりにしたとき、抑えがた

い望郷の念のようなものにかられたのは、あの校舎が生徒達や同僚の先生方との様々な懐かしい思い出の場所だったからでしょう。新しい校舎でも教鞭を取ることができたこともまた、大変幸せでした。しかし、当時、修学旅行引率中に罹った帯状疱疹が原因となつた難聴が年々重くなり、南高校に最後までは勤務できなかつたのはとても残念です。

現在は毎日が日曜日という生活を満喫しています。貧にして楽しむの心境に似ていますが、それなりに充実した日々です。最近は、健康第一を痛感するようになりました。

在職期間 昭和46年～53年3月まで  
平成6年～10年3月まで



に敗れた。今年中央地区春大会は男鹿工（秋季東北大会出場）と延長の末惜敗だった。周りは今年も弱いと思っていた。でも秋、春共に力秘めた感じで敗れた。あと一本が出来なかつた。夏まで建直してくれればと思っていた。

夏の組合せ、一回戦男鹿高、勝つて当然の対戦相手。勝ち方が問題だつた。二回戦山場と見ていた大曲工（シード）を見据えた勝ち方をしてほしかつた。試合が始まり問題は消えた。二本のホームランを放ち大勝。コールド勝ち。勝つて当然だが勝ち方がうれしかつた。二回戦好投手携する大曲工。一回戦の勢いそのままであれやあれやのコールド勝ち。

建直してくれた。やはり力はあるんだ。いやそれ以上にいたんだ。三回戦西日高。一回表2点を取られる。今日は苦しいゲームか。しかしその裏の攻撃で飛び上がった。満塁ホームランも飛び出し8点をもぎとる。そしてクライマックスはやって来た。八回裏死満塁。一回裏に満塁ホームランを放った原田に打順が回ってきた。高めの直球をフルスイング。打球は左中間スタンドへ飛び込んだ。コールド勝ちだ。体が震えた。

☆涙のアナウンス

達はホームベースを挟み整列した。試合終了の結果報告のアナウンスがスタンンドに流れた。女子高生が涙声で、何度も何度も声をつまらせながらアナウンスをした。きっと南北の女子生徒であつたんだろう。

きっと選手達の最後まであきらめない姿に感動したのだろう。

君の涙を選手達は一生忘れないとことだらう。

りのベスト8。でも結果以上につかんだものは大きいはず。感動をありがとう。この記事が届く頃には秋季大会が始まっていると思う。新人もガンバレ。私達はいつまでもいつまでも、いつか来るであろう夏の甲子園出場の夢はすてない。いざ行かん甲子園。

**記録**

一回戦対男鹿高14-10（五回コールド勝）、二回戦対大曲工15-10（五回コールド勝）、三回戦対西目高15-7（8回コールド勝）、準々決勝対経法大附5-6（惜敗）、4試合で49得点、チーム打率4割0分7厘、本塁打5本

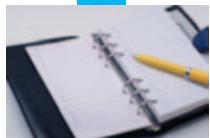
**☆涙のアナウンス**

準々決勝で惜敗した。選手達はホームベースを挟み整列した。試合終了の結果報告のアナウンスがスタンンドに流れた。女子高生が涙声で、何度も何度も声をつまらせながらアナウンスをした。きっと南北の女子生徒であつたんだろう。

きっと選手達の最後まであきらめない姿に感動したのだろう。

君の涙を選手達は一生忘れないと。

# がんばる南高卒業生 19期生 小笠原 和則さん



慌ただしく過ぎていく日々の生活の中で、ふと高校時代を懐かしみ、仲間を思い出しながら回想に心和ませる時、胸がほんのり暖かく楽しい気持ちになる。あの時の仲間は今どうしているんだろう。今回は、そんな思いを感じながら、地元秋田で活躍する卒業生の一人を取り材させていただいた。

小笠原和則さん(37)は19期生。現在、東京・渋谷に本社を持つ旅行会社、日本エアーサービス㈱の秋田営業所に勤務している。国内・海外の業務全般に携わり、世界を飛び回る忙しい日々を送っている。

——入社されたのは?

南高卒業してからすぐでしたので、昭和58年でしょうか。

確かにそうです。この18年で海外40カ国以上は行きましてよ。添乗業務の延べ日数は約1500日です。18年内、4年間は海外にいた計算になります。まあ、旅行マンの中でも多い方だと思います。そんな中で国内出張もありますから、あちこち行ける楽しさなんかは最初の5年間くらいでしたね。たぶん質問の中には、羨ましい気持ちも含まれていると思います。今は、ある程度余裕もあります。今は、ある程度余裕も持てるようになりましたが、して外国に行くとなると大変です。次ですよ。今は、ある程度余裕も持てるようになりましたが、まあ自分の楽しみなんか二の次ですよ。

——南高19期ということですか、高校時代はどんな南高生でしたか?

とにかく部活一色でした。

中学の時からバーボールをやっていたんですが、そのまま高校でも3年間続けました。実家が天王町の出戸浜にありましたので、朝早い汽車に乗って秋田駅から自転車で学校へ、部活後の帰りはその逆ルートなわけで、家に帰るのは夜かなり遅かったように記憶しています。在学中はいろいろな行事があったはずですが、あまり記憶ないです。やはり部活の苦しい練習、合宿、大会なんかが想い出に残っています。現在のバレー部もかなりがんばってくれているようですが、当時も結構強かったです。

——これから的小笠原さんの目標は?

私の仕事は、サービスがすべての商売です。形あるものとして商品を事前に提示できないですからね。お客様との心の繋がり:いわゆる「ハート」が大事です。ハートのある仕事、難しい問題です。人それぞれいろいろな考え方がありますから。家族・親・兄弟・友人・先輩・後輩etc.:

私が持論です。仕事の忙しさに翻弄されて、家族との時間を大事にできなかつたり、友達と疎遠になってしまった。今までの自分はまさしくこの悪い例の人間だったわけでした。(苦笑)

目標と言って良いのかわかりませんが、このインタビューを機に、もっと同窓会の皆さんと交流する機会を持ちたいと思います。そういうえば、バレーパーのOB会にも出たことがないですし、同期の仲間ともしばらく会っていません。仕事に直結することばかり、追い求めてきましたので、ここでちょっと考え方を改めてみようと思います。

——がんばって下さい。本日は本当に有難うございました。

取材当日は、ワールドゲーブズ開催を間に控え、大変お忙しい日でした。

仕事もプライベートもハートを大切に。簡単なようでもても難しいことだと思います。人と接することで自分も大きくなれる。そんなことを最後に語っていた小笠原さん。これから益々のご活躍をお祈り致します。

秋田県経済連指定

株式会社 **マルヨ食品**

常務取締役営業本部長  
**小林吉憲**  
3期C組卒

本社 秋田市外旭川字三千刈153 TEL823-8150(代)  
加工センター 秋田市泉字登木3番地2 TEL862-3641

横町 カラオケスナック  
*for you*

日頃のご愛顧誠にありがとうございます。当店は格安料金で安心してお楽しみいただけるお店です(カラオケ無料) O.B.皆様のご来店をお待ち致しております。

**小玉章子 7期H組卒**  
秋田市大町五丁目3-24 サンピアザ横町1F  
TEL 866-6466

胃腸科・内科

**大窪胃腸科内科医院**

院長 大窪天三幸  
第2期G組卒

五城目町西磯ノ目2丁目2-7  
(県立五城目高校通り)  
TEL 855-1155 FAX 855-1156







# 母校



<http://www.edu-c.pref.akita.jp/~sch11115/>

になりました。夏休み中に、この大会に向けて、練習したいと思っています。今、毎週木曜日の午後7時から土崎体育館で練習していくます。日曜日、月曜日、水曜日、金曜日、土曜日のなかで、練習できる場所を探しています。どこかのサークルなどの情報があつたら、教えてください。一応、時間帯は何時でも良いです。秋田市内で、できれば、土崎地区から近いところで練習場があればなあと思っております。何か、情報がありましたら、遠慮しないで、僕にお知らせ下さい。よろしくお願ひします。同窓生のみなさん、僕を応援してくれたら、とてもうれしいです。

佐々木 美音緒

ホームページがあつたんですね！ちょっととびっくり！！今は、八戸市に住んでいます。もしこれを見た24期生がみんなが、メールくれたら嬉しいなあ。

佐藤 史朗

第13期卒業生です。現在盛岡に住んでおります。吹奏楽部に所属していたのですが、最近のコンクールはどうなんでしょうか。強いいんでしょうか。

6月9日

山崎 惇也  
30期生のやまです。以前  
書き込みをしたところ、懐  
かしい友人からメールをも  
らいました。とても嬉しかっ  
たのでまた書いてます！ま  
だ私は秋田市の某設計事務  
所（とても厳しい所：）に勤  
めているので市内の30期

ホームページがあつたんですね。ちょっとびっくりです。今は、八戸市に住んでいます。もしこれを見た24期生たちがみんなが、メールくれたら嬉しいなあ。

僕にお知らせ下さい。よろしくお願いします。同窓生のみなさん、僕を応援してくれたら、とてもうれしいです。

30期生のやまです。以前書き込みをしたところ、懐かしい友人からメールをもらいました。とても嬉しかったのでまた書いてます！まだ私は秋田市の某設計事務所（とても厳しい所：）に勤めているので市内の30期

富澤俊恵（旧姓白幡）登録リスト・ログを読んでいても18期の人は異常に少ないというか、いない。寂しいです。長い長い東京暮らしに見切りをつけ、秋田に戻りました。これからどうぞよろしく。5月16日

**平川恵**（旧姓鈴木）  
こんなちは。30期のすずきけいです。東京に出てきてから早3年。結婚して名字が平川に変わりました。ついでにお引越し。現在は埼玉県に住んでます。近隣にお住まいの方々、連絡くださいな。飲みにでも行きましょう。

坂口 高校時代は96kg：現在77kg、辛い仕事でこうなりました。太っていれるだけ楽しい高校でした。そんな想い出深い母校の甲子園出場期待しています！今は亡き親友「敬」もそれを願っていました。頑張つてください。

紀國裕章  
南翔会会報で知りました。  
22期生、3年I組でした。  
現在は秋田市の実家にいます。  
同期の同じ組の方のコ

菅原 彩花  
Yahooで秋田のページを開いていたら見つけました。何期かはわかりませんが、99年3月の卒業です。全然連絡とれない人達、元気なんですかねー? 5月9日

こんにちは。30期生の竹内由香と申します。1コ上の先輩からこのHPのことを聞き、早速見てみました。  
ちなみに現在、新屋高校に勤務していますので、秋田にいらっしゃる方、もししくは帰省の予定がある方はご一報ください。ではでは。

みたいで、ピックリしています。同期の人とか（同期じゃなくてもいいんですけど）関東近辺にいる人たち、連絡ください。懐かしい話でもしましょう。

**高貝 勝人**  
23期D組でした。現在は  
神奈川県座間市で働いてい  
ます。交説、新しくなつて

加藤 直行（たぶん27期）  
おばんです。（たぶん）  
27期卒です。秋田南高校で  
検索したら引っかかってき  
たので、懐かしくて思わず  
投稿してみました。えーと、  
卒業時は3-Dで、鎌田諒  
センセーだったかな。卒業後  
して北海道の大学に進学し  
てはや10年、当時の仲間は  
みんな元気にしているのか  
なあ、などとしみじみ思っ  
てしましました。札幌に旅  
行などで来ることがあったな  
らぜひぜひご連絡下さいね。

川上 桂子（旧姓 齐藤）  
第2期生です。秋田を離  
れてはや35年になります。  
神戸で20年暮らし、今は横  
浜で暮らしています。

kiso akikatu  
3期生のkisoといい  
ます。同窓会報を見て、こ  
のHPを知りました。突然  
ですが三平バスって知つて  
ます？今年4月、秋田市に  
デビューしたばかり。秋田  
中央交通の路線バスだよ。  
矢口高男の“釣りきち三平”  
“あのキャラクターが描か  
れたバス。おれそのバスの  
運転手。いつかバスに乗つ  
ておれだと分かつたら声を  
かけて下さい。南高生がこ  
んなところでも頑張つてま  
す。三平バス、よろしく！”

たくさんのメッセージの中から一  
た。また、次号も掲載の予定です

(31期バレーボール部)  
31期の嶋貫です。現在、  
バレーボール部OB会で事  
務局の担当をしています。  
バレーボール部OB会で事  
務局の担当をしています。  
は、現役チームの後援を中心  
たる目的として、かつOB・  
OGの相互交流を行っています。  
ます。(年1回1月第1週開催)  
在土曜日に総会を実施)現  
成中ですので、メールアド  
レス等をお持ちの方や、OB  
会の通知が行っていない方  
方は今まで御連絡ください。  
※特に20期～29期の方の部  
員がわかりません。御存  
知の方は、ご一報を!!



平成十三年度の同窓会宮城支部の会の総会が、六月二日午後四時から仙台市のハーネル仙台で会員ら四十一名が出席し行われた。

総会では「決算報告」、「予算案」が承認された後役員改選が行われ、長尾良幸会長(5期)が再任された。

総会に引き続き懇親会に入つたが、実は総会開始早々ちょっとしたハプニングがあった。

当初総会には、今春卒業の三

十七期生が四人出席する予定だったのだが、開会の言葉も終わらぬうちに、予定より十人多い十六人の三十七期生がドヤドヤと入ってきたのだ

ながらも「これはうれしい誤算」と、会場側に足りない椅子を頼んだり、懇親会の飲食費の算段をしたりと、どうにかその場をしのいだ。尚、四人が突然十六人に増えた理由は携帯電話。メールがいつの間にか仙台にいる三十七期生を駆け巡つたらしい。

何やら三十七期生の歓迎会の様相を呈してきた今年の同窓会だが、来賓として招かれ伊藤教頭が母校の近況を述べ、松木同窓会会长の音頭で乾杯して懇親会=写真=に入した。平均年齢が若返つたせいかコンパのような雰囲気となり、長尾会長の名司会ふ

十七期生が四人出席する予定だったのだが、開会の言葉も終わらぬうちに、予定より十人多い十六人の三十七期生がドヤドヤと入ってきたのだからたまらない。一同唖然としながらも「これはうれしい誤算」と、会場側に足りない椅子を頼んだり、懇親会の飲食費の算段をしたりと、どうにかその場をしのいだ。尚、四人が突然十六人に増えた理由は携帯電話。メールがいつの間にか仙台にいる三十七期生を駆け巡つたらしい。

何やら三十七期生の歓迎会の様相を呈してきた今年の同窓会だが、来賓として招かれ伊藤教頭が母校の近況を述べ、松木同窓会会长の音頭で乾杯して懇親会=写真=に入した。平均年齢が若返つたせいかコンパのような雰囲気となり、長尾会長の名司会ふ

# 秋田南高校 同窓会支部 宮城支部の会

平成十三年度総会



初参加の三十七期生の一人原田望平君(宮城教育大)の将来の希望は理科の教師になること、初々しい十六人の三十七期生はもちろんおじさんあばさんの同窓生らも新たなる夢づくりへの元気をこの会でもらい、校歌斎唱の後意気揚々と二次会場の国分町へと流れていった。

私はですが、はじめて東京ドームで巨人戦を観戦しました。秋田弁でいえば「しつたげおもしろがつた」です。当然のことですが、テレビで見るのとは臨場感が全然ちがりますし、大盛り上がりを感じました。

ワールドゲームズが昨日閉幕しました。昨日は大曲花火大会でした。外国人や県外ナンバーなどなんとたくさんの人たちが秋田に来県しました。彼らは満喫されましたか。でも、どんな行事やお祭りも参加したり見物に行つたりしなければ思いい出として残らないのではないか。短い秋田の夏暮れです。

皆さんに満喫されましたか。この会報が届く頃にはナベッカコの時期でしょうね。二十世紀最初の年、夏忙しかった人たちはこれから思い出をつくりましたのであります。会報部は恒例の打ち上げや、ゴルフコンペなどを行なう予定です。

## 編集後記

### 同窓会名簿購入のお願い

昨年11月に最新の同窓会名簿第8号が発刊されました。新旧校舎の写真等思い出が詰まった記念の一冊になることと思います。同窓生との輪を広げるためにも是非ご購入ください。

☆同窓会名簿 一冊 5,000円

申し込み問い合わせ  
株式会社アチカ  
電話 018(823)8781  
FAX 018(823)8790  
E-mail kawai@atika.co.jp  
担当者 川合(5期)藤木(22期)

秋田市仁井田緑町四の一  
秋田県立秋田南高校内  
同窓会事務局  
電話 018-831-4377  
018-831-7743

各種印刷・ホームページ作成  
電子組版・電子文書処理

株式会社 **くまがい印刷**

代表取締役 熊谷正司 (4・A)

秋田市中通六丁目4-21  
018(833)2220(代) FAX(833)6732

## 酒房

### くもりのち はれ

工藤 範子 第4期I組卒

秋田市山王一丁目6-7  
淀ビル2F  
865-6406

毎日がディスカウント  
生鮮食品から家電製品まで

### (有)ドジャーズ商事

ヒキノ商事(不動産管理)

専務取締役 挽野悦雄 (1・E)

秋田市山王臨海町4番37号  
832-5446(代)